



同 窓 会 報

千南原

第 22 号

平成 20 年 10 月 1 日 発行

【 編 集 ・ 発 行 】

〒 426-8577

藤枝市天王町 1 丁目 7-1

静岡県立藤枝東高等学校同窓会

【 同 窓 会 】

電話 / 054-645-3527

FAX / 054-645-3529

< 同窓生数 > 23,109 名

< 在学生数 > 969 名

< 職員数 > 87 名

【 印 刷 】

〒 426-0041

藤枝市高柳 1 丁目 18-23

共立印刷株式会社

電話 / 054-635-4651 (代)

巨星 墜つ

小川国夫氏、千野忠男氏 逝去

さめない微熱

～ 小川国夫さんを悼む ～



平成二十年四月八日、藤枝東高校（旧制志太中）出身で、郷土が誇る作家小川国夫さんが八十歳で逝去されました。藤枝市文学館が開館し、開館記念の小川国夫文学展が終わって間もない頃でした。私が、小川先生をはじめ知ったのは高校生の時でした。東高生なら在学中に必ず一度先生の講演を聴く機会があり、私も体育館でお話を聴きました。実は、「小川国夫」という作家の存在を知ったのも、その時がはじめてで、それ以降、部活で蓮華寺池公園をジョギングしている時などに先生の姿をお見かけする機会が何度かありました。当時は、小川先生とこうして仕事をさせていただくことになるとは、夢にも思っていませんでした。



教育委員会文化課 学芸員 大石 裕美 (六十五回)

小川先生が、昼夜逆転の生活をなさっていると知ったのは、七年ほど前に別の仕事で取材の申し込みをした時でした。「起きるのが午後三時過ぎだから、連絡するときは夕方から夜に」と教えられ驚いたことは今も記憶に新しく、同時になぜか納得もしました。作家という職業の人が、自分の文章を生み出す時間とは、人々が寝静まった静かな時間に、一人だけの空間に自らを置いて、自分の世界を見つめている、その瞬間なのではないかと思つたからです。その後、私は文学館の学芸員として開館記念特別展「小川国夫文学展 アポロンの

畏友

～ 千野忠男君を悼む ～



七月十七日、新聞記者から千野君の逝去を知らされ、あまりにも突然のことで仰天した。私達同級生の数人が集い、正月二日と八月十六日の年二回、藤枝駅前のお店で楽しいひとときを過ごすことが通例となっていた。今年の正月、彼と話をした時「少しやせたかな」と思ったことを思い出す。私達が志太中学校で学んでいた頃は、まだグラウンドの北側には芋畑があった。休み時間には外に出て手製のボールやバットで野球らしきもので楽しんだ。彼は守備はホットコーナー、打順は三番か四番をこなし、サッカーボールは裸足で蹴ったり、運動神経もよかった。

関東支部総会てんまつ記

村野坦 (三十一回)



校歌、第一応援歌を、しっかり3番まで

東京都心の日本プレスセンタービル十階のレストラン。眼下に日比谷公園の緑の帯が伸び、霞ヶ関、丸の内ビル群の景観が広がる。関東六都県に住む同窓生が二年に一度集まる支部総会を七月十二日(出午後、ここで開いた。参加者は榎田本部長、杉本校長ら静岡からのお客様を含めて百四十人。千通余り送った案内状に対する出席率は九十三年以来、八回目になる今回が最高だった。「来て良かった」「次回が楽しみ」。出席者からこんな感想が寄せられたから、まずは盛会だったと思う。



村上さんの演奏と聴き入る人たち

昨年まで東高の中心選手で今は慶応大サッカー部で活躍する河井陽介君(八十一回)が応援への感謝を述べ、グラウンドへ戻っていった。会場にセットしたスクリーンで、静岡の民放が放送したサッカー部と、それを支える藤枝の町のDVD、母校の提供による最近の学校生活の写真約二百枚の映像を流した。

クラス会や同期会ならいけれど同窓会総会は敬遠だねーそんな卒業生から聞く。肩書きある人が紋切り型の挨拶を並べ、酒を飲み、校歌がなつて終わる。このパターンの繰り返しでは同窓会の全体会は高齢者の自己満足に終わる先細りするばかりだろう。老いも若きも、ひととき同窓の一体感に包まれるような試みを絶えず探っていくたい。今度の総会を見ても十八歳から八十五歳まで、実に幅広い年代層が参加したのだから。

二〇〇年度総会と活動のついで

平成二十年七月五日、藤枝「小杉苑」にて同窓会総会が開催されました。当日は、百名の役員の方が参加され、十九年度決算報告、二十年取支予算承認・決議していただきました。決算報告は本紙記載の通りです。

各委員会活動を報告します。名簿委員会の活動につきまして、今後の方針を承認いただきましたので新たに「総務委員会」として活動してまいります。名簿発行を中止し、今後の同窓会事業を中心に活動をしていく。組織・規約委員会につきましては、同窓会規約の見直し・改定、支部会への活動支援の検討を行ってまいります。

最後に、同窓生の中でも特に藤枝東高等学校の名を全国的に広めて頂いたといつても過言ではないお二人の方が相次いで他界されました。同窓生一同紙面をお借りいたしました作家小川国夫先生と名譽顧問千野忠男氏に対し哀悼の意をささげます。



焼津市長 戸本 隆雄 (二十五回)

七月十七日、新聞記者から千野君の逝去を知らされ、あまりにも突然のことで仰天した。私達同級生の数人が集い、正月二日と八月十六日の年二回、藤枝駅前のお店で楽しいひとときを過ごすことが通例となっていた。今年の正月、彼と話をした時「少しやせたかな」と思ったことを思い出す。私達が志太中学校で学んでいた頃は、まだグラウンドの北側には芋畑があった。休み時間には外に出て手製のボールやバットで野球らしきもので楽しんだ。彼は守備はホットコーナー、打順は三番か四番をこなし、サッカーボールは裸足で蹴ったり、運動神経もよかった。

全国高等学校野球選手権静岡県大会 始球式

野球部 / 渡辺光里さん (二年生)



《写真提供》静岡新聞社

挨拶は最小限にし「乾杯」の前に静岡で活動するピアニスト村上夢子さん(七十回)が備え付けのピアノでショパンの二曲を演奏した。

《写真撮影》宮崎秀司(五十四回)